

新基本計画策定のための  
船橋市市民会議

報告書

船橋市  
企画調整課



# 目 次

<b>I. 船橋市市民会議の実施内容</b> .....	<b>1</b>
1. 会議の位置づけ .....	1
2. 実施概要 .....	1
3. 会議運営の方法 .....	2
<b>II. 基調講演の内容</b> .....	<b>7</b>
1. 実施概要 .....	7
2. 基調講演資料 .....	7
<b>III. テーマごとの討議の結果</b> .....	<b>15</b>
1. 討議①：「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」 .....	15
2. 討議②：「環境負荷の少ない市民生活」 ～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～ .....	19
3. 討議③：「安心で安全な生活環境」 ～防犯・防災関係・地域コミュニティ～ .....	23
4. 討議④：「活力ある都市への魅力づくり」 ～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～ .....	27
5. 討議⑤：「これからの保健福祉」 ～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～ .....	30
6. 討議⑥：「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」 .....	33
<b>IV. 市民会議の評価と課題の整理</b> .....	<b>36</b>
1. 参加者アンケート調査結果から見た市民会議の評価 .....	36
2. 討議結果の特徴と成果 .....	42
<b>資 料 編</b> .....	<b>43</b>
1. 船橋市市民会議参加者名簿（50音順、敬称略） .....	43
2. 参加者アンケート調査票 .....	44



# I. 船橋市市民会議の実施内容

## 1. 会議の位置づけ

### (1) 会議の設置目的

船橋市市民会議は、無作為抽出によって選ばれた市民に、本市のまちづくりにおいて今後取り組むべきことについて討議して頂き、その討議結果を市民の皆様から頂いたご提案として、今後検討・策定する新基本計画に活用するために実施した。

### (2) 会議の成果

船橋市市民会議は、本市のまちづくりにおいて今後取り組むべきことについて、市民の目線から見て優先的、重点的に取り組むべき特に重要な事項を意見として抽出し、こうした取り組みについて、「市民として取り組んでいくこと」、「行政にサポートして欲しいこと」をそれぞれご提案頂いた。

## 2. 実施概要

### ① 開催日時

平成21年11月15日（日）午前10：00～午後5：00

11月29日（日）午前10：00～午後4：00

12月13日（日）午前10：00～午後4：00 全3日間

### ② 開催場所

市役所 6階 602会議室

### ③ 討議テーマ

- 1) 「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」
- 2) 「環境負荷の少ない市民生活」  
～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～
- 3) 「安心して安全な生活環境」  
～防犯・防災関係・地域コミュニティ～
- 4) 「活力ある都市への魅力づくり」  
～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～
- 5) 「これからの保健福祉」  
～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～
- 6) 「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」

### ④ 参加者の募集方法と応募状況

#### a) 募集方法

船橋市全域の在住者のうち、満15歳以上の男女を対象として住民基本台帳から無作為に抽出された6,000人に募集案内を送付し、応募のあった市民から抽選により30名を選出した。辞退者が1名、全日程欠席された方が1名おり、最終的に28名（1日目25名、2日目23名、3日目24名）が参加した。

## b) 応募状況と抽選結果

募集に対し、応募者総数は 176 名（案内送付対象者の 2.9%）であった。その構成は以下の通りである。

図表I-1 船橋市市民会議応募者数の内訳

性別応募状況		年代別応募状況		うち男	うち女
男	89	15～19	3	1	2
女	87	20代	15	7	8
合計	176	30代	28	12	16
		40代	26	13	13
		50代	17	8	9
		60代	48	30	18
		70代～	39	18	21
		合計	176	89	87

図表I-2 船橋市市民会議参加者抽選結果の内訳

性別選出状況		年代別選出状況		うち男	うち女
男	16	15～19	2	0	2
女	14	20代	4	1	3
合計	30	30代	6	3	3
		40代	5	3	2
		50代	4	2	2
		60代	5	4	1
		70代～	4	3	1
		合計	30	16	14

## 3. 会議運営の方法

### ① 会議運営手法の概要

船橋市市民会議は、ドイツで実施されている市民参加手法である「プランニング・セル」に準じた実施手法で行った。

「プランニング・セル」の概要は以下の通りである。

#### <プランニング・セルの概要>

##### ➤ 概要

1970年代初めに独・Wuppertal 大学 P.C.Dienel 教授により考案された市民参加手法で、無作為に抽出された 25 名の市民に 5 名の小グループ（＝セル）に分かれての熟議をしてもらう「プランニング・セル」を多数行い、市民報告を作成する手法。

議論は、事務局から必要な情報の提供を受けた上で小グループごとに討議して結論を出し、各グループの結果を統合して会議全体としての結論を取りまとめる。

##### ➤ 対象者の抽出方法と抽出条件

- 1 住民台帳から無作為に抽出された人々から参加者を募る
- 2 参加は有償とし、参加者は責任をもって討議に参加する

## ② 会議運営の基本的な手順

討議のテーマごとに、以下のような手順で実施した。

### <討議の基本的な手順>

- 1 テーマに対する説明と専門家からの情報提供
- 2 5名ずつの小グループ（無作為、討議テーマごとに毎回組み替え）に分かれて議論する（議論は市民のみで行う）
- 3 全員で各グループの討議結果に投票を行う（投票は市民のみが行う）
- 4 事務局が討議結果への投票結果を整理し、各テーマに対する全体意見を作成する

## ③ 会議全日程の流れ

会議は3日間で行い、以下のような内容で討議を行った。

### 【3日間の討議の流れ】

討議①船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法

討議②～⑤テーマ別討議

- ②テーマ1：環境負荷の少ない市民生活（自然と共生した都市生活・資源循環型社会）
- ③テーマ2：安心して安全な生活環境（防犯・防災関係・地域コミュニティ）
- ④テーマ3：活力ある都市への魅力づくり（産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち）
- ⑤テーマ4：これからの保健福祉（児童・障害者・高齢者福祉、保健関係）

（各テーマについて、全グループがそれぞれ討議した）

（グループは無作為に組成し、討議テーマごとに毎回組み替えた）

討議⑥分野横断的論点に関する討議

（職員ワークショップのリーディングプランのアイディアの説明を受け、これを参考に市民会議としてのリーディングプランのアイディアを検討した）

#### ④ 討議スケジュール

\*1日目：平成21年11月15日（日）（10：00～17：00）

項目	時刻	時間	内容（担当）
全体ガイダンス	10:00～10:30	30分	・主旨説明・本会議の検討対象と役割・位置付け、基本計画の位置付けと概要 ・手順・ルールの説明
開会式	10:30～10:40	10分	・市長挨拶
基調講演	10:40～11:10	30分	・山梨学院大学法学部 日高昭夫教授 （「住民参加による新しい公共」―地域の課題解決法―）
討議①船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法	11:10～12:40	90分	・分野を限定せずに船橋市の魅力とそれを伸ばす方法、船橋市の問題点とその改善方法について議論する（本項目のみ魅力、問題点各2、計4つまでに論点を絞る（他は原則3つまで））
昼食	12:40～13:30	50分	
発表・投票	13:30～14:10	40分	・小グループごとに討議結果を発表 ・委員全体の意見の傾向を把握するため投票を実施
情報提供（討議②）	14:10～14:40	30分	・（環境部）「環境負荷の少ない市民生活」～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～
討議②テーマ別討議	14:40～16:00	80分	・設定されたテーマについて、今後取り組むべきこと ➢市民としてすべきこと、できること ➢それに対し行政にサポートしてほしいこと
発表・意見交換・投票	16:00～16:50	50分	・小グループごとに討議結果を発表 ・委員全体の意見の傾向を把握するため投票を実施
閉会	16:50～17:00	10分	・次回の予定の説明 ・閉会

\*2日目：平成21年11月29日（日）（10：00～16：00）

項目	時刻	時間	内容（担当）
情報提供（討議③）	10:00～10:30	30分	・（市長公室・市民生活部）「安心で安全な生活環境」～防犯・防災関係・地域コミュニティ～
討議③テーマ別討議	10:30～11:50	80分	設定されたテーマについて、今後取り組むべきこと ➢市民としてすべきこと、できること ➢それに対し行政にサポートしてほしいこと
昼食	11:50～12:40	50分	
発表・意見交換・投票	12:40～13:20	40分	・小グループごとに討議結果を発表 ・委員全体の意見の傾向を把握するため投票を実施
情報提供（討議④）	13:20～13:50	30分	・（経済部）「活力ある都市への魅力づくり」～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～
討議④テーマ別討議	13:50～15:10	80分	設定されたテーマについて、今後取り組むべきこと ➢市民としてすべきこと、できること ➢それに対し行政にサポートしてほしいこと
発表・意見交換・投票	15:10～15:50	40分	・小グループごとに討議結果を発表 ・委員全体の意見の傾向を把握するため投票を実施
閉会	15:50～16:00	10分	・次回の予定の説明 ・閉会

\*3日目：平成21年12月13日（日）（10：00～16：00）

項目	時刻	時間	内容（担当）
情報提供（討議⑤）	10:00～10:30	30分	・（健康部・福祉サービス部・子育て支援部） 「これからの保健福祉」 ～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～
討議⑤テーマ別討議	10:30～11:50	80分	設定されたテーマについて、今後取り組むべきこと ➢市民としてすべきこと、できること ➢それに対し行政にサポートしてほしいこと
昼食	11:50～12:40	50分	
発表・意見交換・投票	12:40～13:20	40分	・小グループごとに討議結果を発表 ・委員全体の意見の傾向を把握するため投票を実施
情報提供（リーディングプランについて）	13:20～13:50	30分	・職員ワークショップのリーディングプランを説明
討議⑥（横断的課題について）	13:50～15:10	80分	・分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）について討議
発表・意見交換・投票	15:10～15:50	40分	・小グループごとの成果を互いに発表し、共有する
閉会式	15:50～16:00	10分	・副市長挨拶 ・成果の活用方法、今後の予定等の説明



⑤ 討議内容等

a) 各討議セッションでの具体的な検討内容

各討議セッションでは、各テーマに対して、「船橋市のまちづくりにおいて今後取り組むべきこと」について、以下の3つの側面から意見の取りまとめを行った。

<p>■課題：</p> <p>問題点の解決や、長所を伸ばすことなど、取り組みの目的・目標となること 例) 不法投棄の根絶</p> <p>■市民が取り組むこと：</p> <p>課題に対し、市民として取り組めること、取り組むべきこと 例) ボランティアによるパトロールの導入</p> <p>■市にサポートして欲しいこと：</p> <p>市民の取り組みの支援や、市民と連携して、行政として取り組むべきこと 例) 市民からの通報を受けた取り締まり、撤去等、市民と連携した不法投棄根絶に向けた取り組みの強化</p>
--

b) 発表用シートの作成

各討議セッションの討議結果は、以下の発表用シートに取りまとめた。

図表I-3 発表用シートのイメージ

グループNO	メンバー氏名		メンバー全員の 名前を記入
S.②	環境負荷の少ない市民生活を実現するための「課題(目標とすべきこと)」は何か、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を整理してください。		
I	課題(目標とすべきこと)	投票欄	メンバー全員の意見を集約してI～IIIの3つの意見に取りまとめた
	課題を解決するために市民が取り組むこと		
	市にサポートして欲しいこと		
II	課題(目標とすべきこと)	投票欄	発表・投票の際に、参加者全員で自らが支持する意見の投票欄にシールを貼った
分野横断的な取り組みのアイデア			討議の過程で出た分野横断的意見を記録し討議⑥で活用した

### c) 発表と投票の方法

各グループの代表者が参加者全員の前で討議結果を発表し、意見交換ののちに、全員で投票を行った。投票は一人3票（第一セッションのみ強み弱み各2票）を投じることができることとし、シールを発表用シートに貼る方法で行った。

### ⑥ 討議のルール

討議にあたって、以下の事項をルールとして提示し、参加者全員で共有した。

- 1) 時間は有限です。一つでも多くの意見が交換できるように、発言はできるだけ簡潔にしましょう。
- 2) お互いの自由な発想を尊重しましょう。他の人の意見に同意できない場合は、相手の意見の批判や反論をするのではなく、代替案を述べてください。
- 3) 個人としての好みではなく、市民全体にとって適切かどうかで判断してください。
- 4) せっかく議論しても結論が出なければ提案として活かされません。セッションごとに必ず結論を出してください。
- 5) 一度出した結論は、たとえ反対の立場だったとしても尊重し、後戻りしないようにしましょう。

図表I-4 討議・投票の様子



## II. 基調講演の内容

### 1. 実施概要

会議の第1日目に、地方自治への住民参加の最新動向に関する情報を提供するため、学識経験者による基調講演を実施した。

■講師 山梨学院大学教授 日高昭夫氏

■演題 「住民参加による新しい公共——地域の課題解決法——」

- 1 新しい公共とは
- 2 新しい公共の背景
- 3 地域社会での協働のために
- 4 住民参加による協働のために
- 5 市民会議がその役割をさらに発揮するために（提言）

### 2. 基調講演資料

# 住民参加による新しい公共

——地域の課題解決法——

山梨学院大学 日高昭夫

## 「新しい公共」とは？

- ①行政改革会議最終報告1997(平成9)年12月
- 橋本龍太郎首相の「直属機関」として1996(平成8)年11月に発足した「行政改革会議」では、次のように説明している。「今日、**公共性の空間**は、もはや**中央の官の独占物ではなく、地域社会や市場も含め、広く社会全体がその機能を分担していくとの価値観への転換**が求められている」「国と地方の間では、公共性の空間が中央の官の独占物ではないという理念に立ち返り、統治権力の適正な配分を図るべく、地方分権を徹底する必要がある」(行政改革会議事務局OB会編『21世紀の日本の行政』1998年)——→**自律的個人を基礎とした、より自由かつ公正な社会の形成にふさわしい21世紀型行政システムへの転換**

## 「新しい公共」とは？

- ②「21世紀日本の構想」懇談会最終報告2000(平成12)年1月
- 小渕恵三首相の私的諮問機関として1999(平成11)年に設置された「21世紀日本の構想」懇談会(河合隼雄座長)の最終報告の中では、次のように説明されている。「**新しい公**とは、「お上」に言われたり強いられたりする従来の「公共」「公益」ではなく、「**個人を基盤に力を合わせて共に生み出す新たな公**」である。「自分の所属する場にとらわれず、自分の意思で、意識的に社会へ関わり合うことで新たに創出されてくる公である。多様な他者の存在を許し、思いやり、他者も支える公である。同時に、合意が形成された場合には、自分が従うべき公でもある。」(21世紀日本の構想懇談会報告書、2000年1月)——→「**自立と協治**」:個の自立、他者への寛容、参加と責任

## 「新しい公共」とは？

- 公共サービスの広がりと行政の限界
- 対立から連携へ
- 代替から相補へ
- 「協働」が標準ルールになる時代

## 「新しい公共」の背景①政府の失敗

### i. 財政危機\_\_ 厩大な累積赤字⇒ 財政の限界

平成20年度末の国・地方の長期債務残高（財政投融资特会国債残高133兆円を除く）は778兆円（うち、地方分が197兆円）。国民一人当たり609万円のローンがある計算になる。また、対GDP147.6%で、主要先進国中最悪の状態にある。

**無い袖は振れない**

## 「新しい公共」の背景②市場の失敗

- ii. セーフティネットなき格差社会⇒ 新自由主義＝市場原理主義の限界

地方経済の衰退／雇用の不安定化／所得階層による教育格差／社会不安の増大／リベタリアン(自由至上主義者)の増加による社会的信頼関係の希薄化など

金の切れ目が縁の切れ目？

日高昭夫,住民参加と新しい公共

6

## 「新しい公共」の背景③公共問題の変容

- iii. 政府か市場か、の二項対立では解けない公共問題・政策課題の変容⇒ 連携と相補

- 企業公害から地球環境問題へ
- 効率的ごみ処理事業からごみ減量化へ
- 措置行政から契約型社会サービスへ
- 男女平等行政から男女共同参画社会へ
- 事後対策から予防対策へ

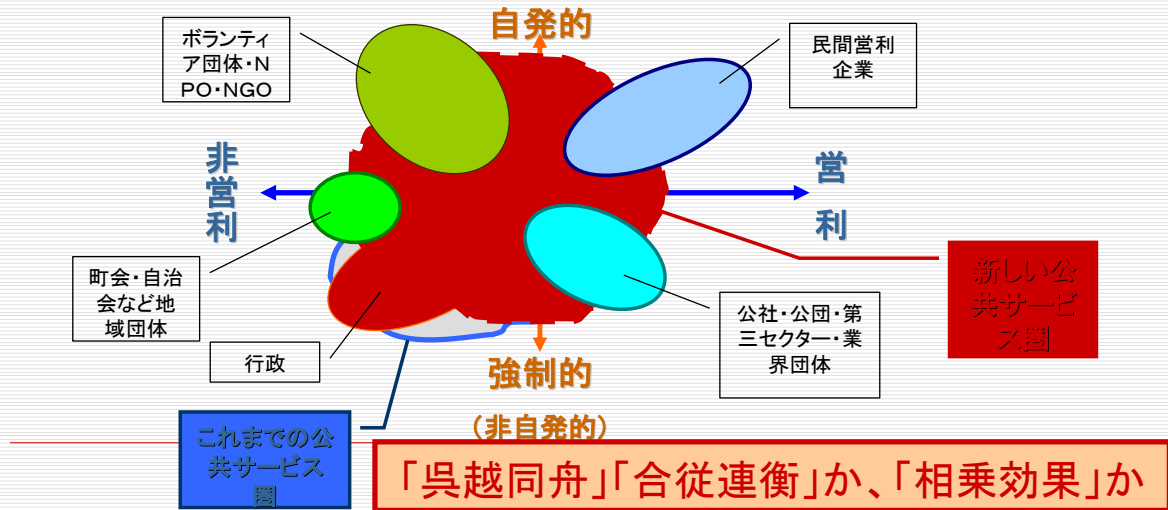
三人寄れば文殊の知恵

日高昭夫,住民参加と新しい公共

7

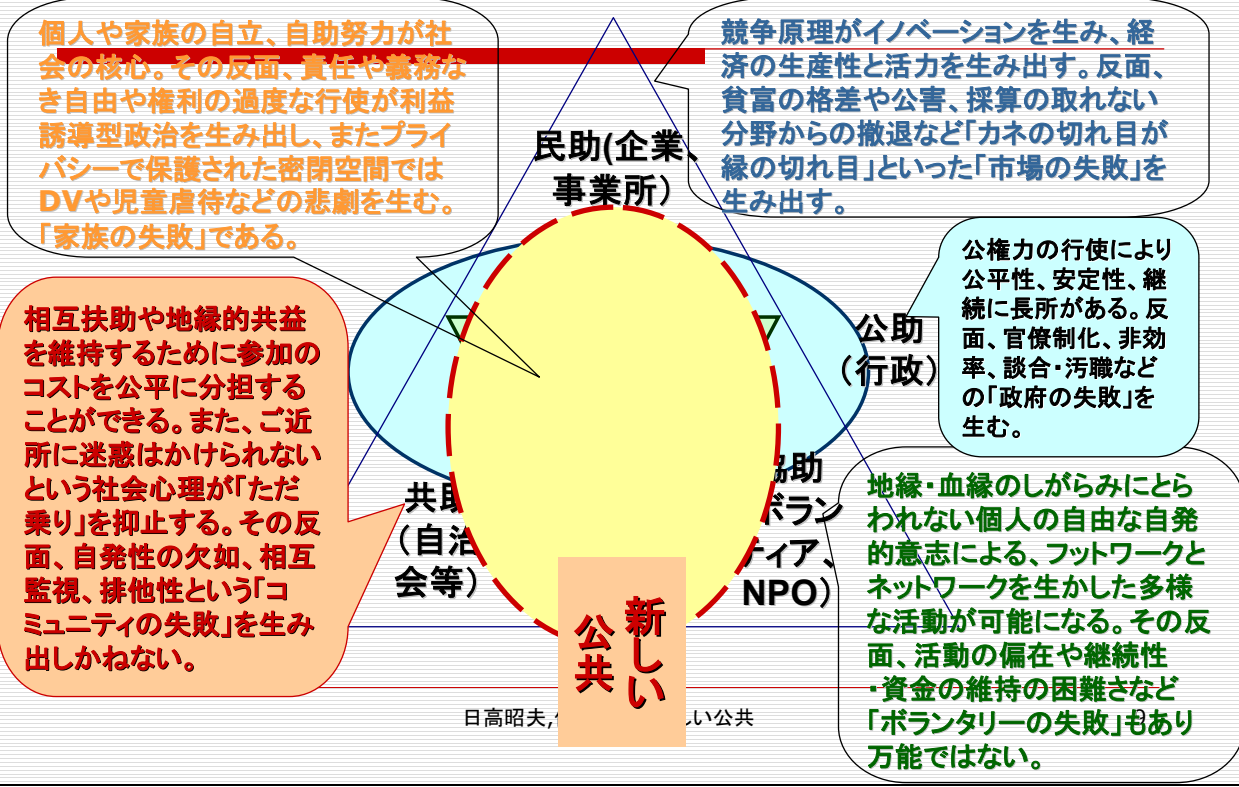
# 「新しい公共」の背景④公共サービスの多様な担い手

## iv. 公共サービスの担い手の広がり⇒「民力」の向上

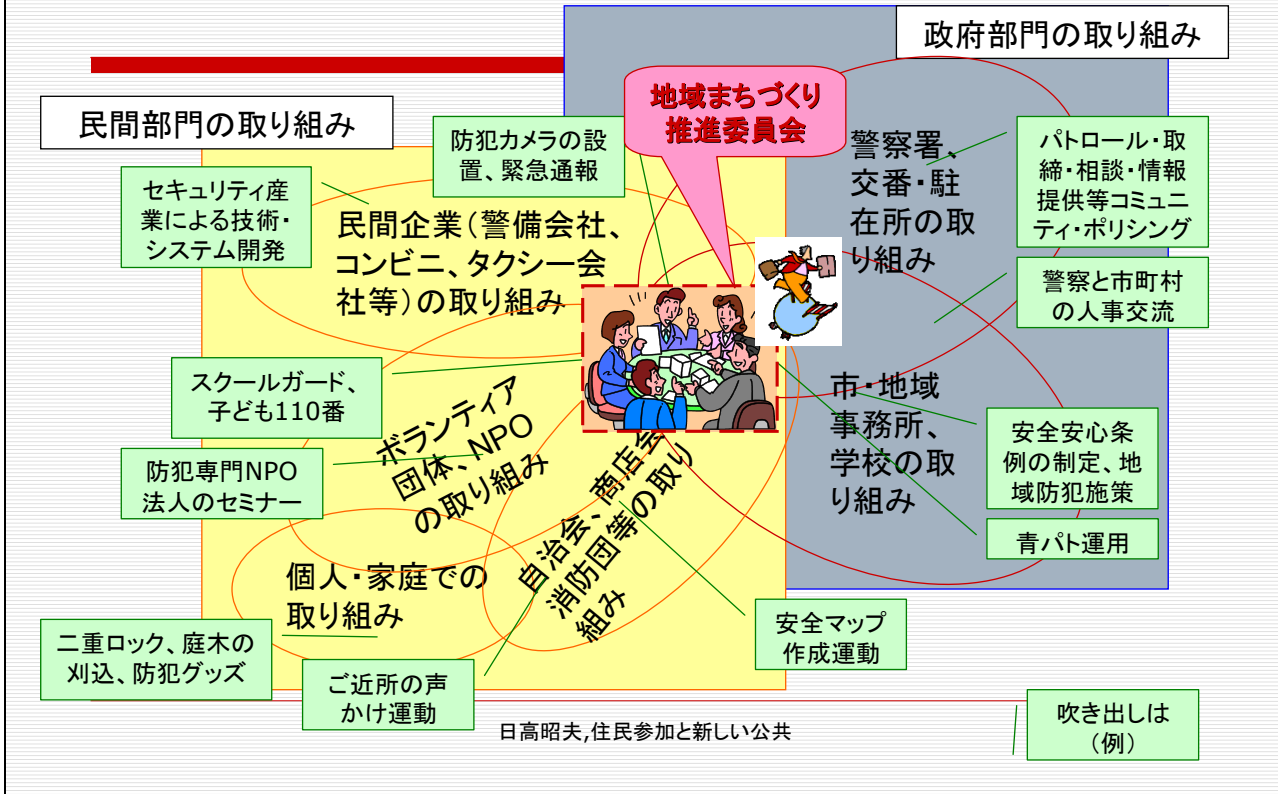


## 地域社会での協働のために

### 「五助」の仕組みを創意工夫する



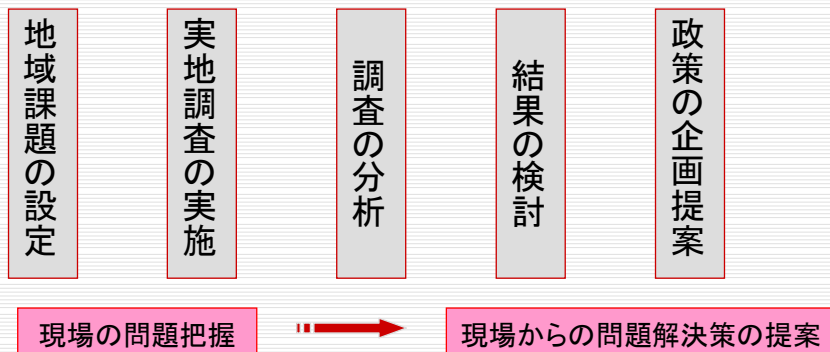
# 「五助」の仕組みとしての地域防犯のイメージ 各セクターの特性を活かした諸活動のネットワーク化



## 住民参加による協働のために

① 地域特性を分析し対策を提案する **企画調査機能** として

(例) 地域課題に関する住民アンケートの実施

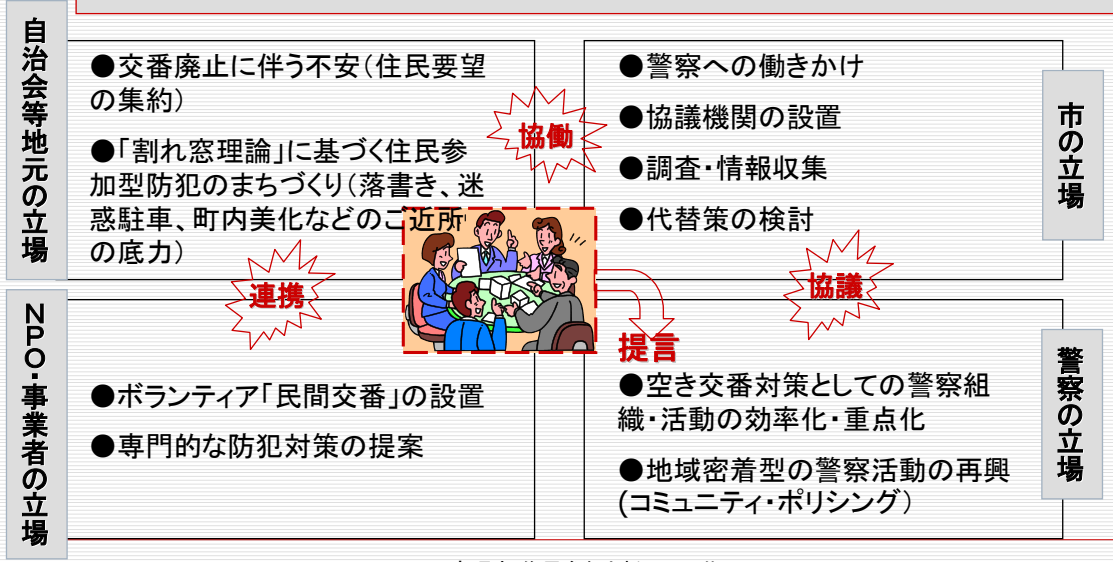




## 住民参加による協働のために

②特定の地域課題や懸案についての**提言機能**として

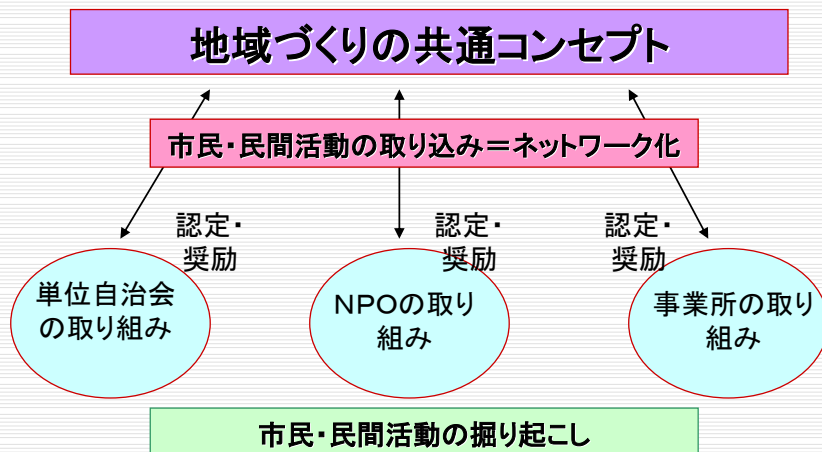
(例)「交番」の統廃合を機に地域防犯を再考



## 住民参加による協働のために

③単位自治会、NPO、事業所などの市内の多様な取り組みに共通のコンセプトを与える**地域マネジメント機能**として

(例)滋賀県長浜市の「博物館都市構想」から学ぶ



市民会議がその役割をさらに発揮するために(提言)  
**意見の食い違いが当たり前**という前提で話し合いを進める

- 相互の信頼関係をつくる
- 他人の話をじっくり聴いて問題の本質を理解するよう努める
- 強圧的な威圧や足して2で割る妥協を避け、意見の食い違いを積極的に表に出す
- 「雨降って地固まる」ためには、第三の解決策を創意工夫する努力を諦めない

ご清聴ありがとうございます...



(最近の主な論文・著書)

- 2009年「地域ガバナンスの担い手としての住民と自治体職員の課題」『月刊ガバナンス』(ぎょうせい)8月号
- 2008年～2009年「町内会・自治会論」明日の日本を創る協会『まちむら』101号～106号連載
- 2009年『町内会の概念』再考』山梨学院大学『法学論集』63号
- 2008年『基礎自治体』と地縁組織』『月刊ガバナンス』(ぎょうせい)8月号
- 2006年「協働型行政をめぐる課題」『月刊地方自治職員研修』(公職研)11月号
- 2004年『地域のメタ・ガバナンスと基礎自治体の使命』(イマジン出版)
- 2003年『市町村と地域自治会』(山梨ふるさと文庫)

### III. テーマごとの討議の結果

#### 1. 討議①：「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」

##### <討議テーマの説明>

(船橋市市民会議第一回 資料3「船橋市市民会議 討議テーマの内容について」より抜粋 以下同様)

##### \*「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法」

- ・船橋市のあなたが好きなところ、ありがたいと感じているところ、他地域と比較して豊かだと感じているところなど、「船橋市の魅力」と感じている点をあげ、これをさらに伸ばしていくために行うと良いと思われる取り組みを検討し、最も大切だと考える2つのアイディアに整理してください。

##### \*「船橋市の問題点とその改善方法」

- ・船橋市のあなたが嫌いなところ、困っているところ、他地域と比較して劣っていると感ずるところなど、「船橋市の問題点」と感じている点をあげ、これを改善するために行うことが必要な取り組みを検討し、最も大切だと考える2つのアイディアに整理してください。

#### (1) グループ別討議の結果

##### ① 魅力とそれを伸ばす方法

都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高いことに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が40%を占めている。個別の提案では「利便性(交通、生活)」という魅力を伸ばすために市民は「車に頼らない」に、市は「道路整備と駅前再開発、駐輪場整備」に取り組むとする提案が22%と個別提案の中で最も高い支持率を得ている。

次に緑や海など自然が豊かであることに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が36%を占めている。個別の提案では「緑が多く自然が豊か」という魅力を伸ばすために市民は「緑の保全活動や直売所(地元野菜など)の利用」に、市は「乱開発を防ぐ条例等の制定、直売所の設置」に取り組むとする提案が20%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

##### ② 問題点とその改善方法

道路などのインフラの整備が不十分であることに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が36%を占めている。個別の提案では「自転車道・歩行者道の区分がわからない」が問題点であり、その改善のために市民は「町会、自治会、各家庭での(交通マナー遵守の)取り組み」に、市は「小・中学校でのルール指導」に取り組むことが必要であるとする提案が18%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

次に治安が悪いことに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が22%を占めている。個別の提案では「治安が悪い」が問題点であり、市民は「自治会・自警団のパトロール強化」に、市は「防犯カメラと街路灯の設置(モデル地区設定と横展開の明示)」に取り組むとする提案が20%と個別提案の中で最も高い支持率を得ている。

##### ③ 分野横断的課題に係る論点

船橋市の魅力や課題に関連して、市政の複数の分野に係わる課題として、魅力を活かすことに関しては「インフラ整備」、問題点を解決することに関しては「コミュニティの強化」、「通学路の市民パトロール(防犯にもなる)」といった論点が挙げられている。

図表III-1 「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法」討議結果

魅力		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の 類型	各グループの提案						
都心に近く 商業が充実 しているな ど生活利便 性が高い	利便性(交通、生活)	車に頼らない(自転車での移動、鉄道も)	・道路整備と駅前再開発 ・駐輪場整備	1位	11	22.0%	D
	地産に恵まれ、東京に近い	地消と安全に取り組む	農業と市街化のバランスの取れた長期計画の策定	6位	4	8.0%	A
	買い物がしやすい	地元産業振興のため、地元で買い物をする	駅前の再開発	6位	4	8.0%	D
	都心に近い、ショッピングセンターが多い	・ショッピングセンターの積極的利用 ・駅前の美化	駅前の再開発(船橋駅など)	9位	1	2.0%	E
	公共施設、商業施設も整っている	公共施設の利用を高める	・公共施設の利用方法などの広報を充実させる ・地域新聞など	10位	0	0.0%	C
「都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高い」に関する提案 合計					20	40.0%	
緑や海など 自然が豊か である	緑が多い 自然が豊か	保全活動(緑化) 直売所(地元野菜など)を利用	・乱開発を防ぐ条例等の設置 ・直売所の設置	2位	10	20.0%	E
	緑と海のある街	個人個人が積極的に清掃に心がける(公園・道路) 各家庭での庭作り 三番瀬等、海岸の写真展を開催する	・四季を感じる公園作りをしてほしい(行事も) ・公園全てにゴミ箱を設置 ・写真展等の協力 ・海への交通の充実	3位	6	12.0%	B
	海を市民の場として広げていきたい	海場の清掃活動	・海場の整備 ・公園設備 ・海を使った教育施設 ・物産 ・市場と食堂	8位	2	4.0%	C
「緑や海など自然が豊かである」に関する提案 合計					18	36.0%	
自警団がある	自警団のモデル地区あり	横展開の協力活動をする	情報提供と警察力強化へのバックアップ	4位	5	10.0%	A
歴史的資産が豊か	遺跡・歴史的なものが多い街	自分たちの住んでいる街の歴史等を知る(市民グループ作り) 洗い出しをする	・資料提供→公民館サークルへ呼びかけ ・市民に対しても国民に対してもPRを!(マスコミ等を利用しても良いのでは?)	4位	5	10.0%	B

図表III-2 「船橋市の問題点とその改善方法」討議結果

問題点		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の 類型	各グループの提案						
道路などインフラの整備が不十分	自転車・歩行者道がわからない	町会、自治会、各家庭での取り組み	小・中学校でのルール指導	2位	9	18.0%	C
	道路問題(道路が狭い、交通量が多い)	通学路を中心とした市民パトロールで事故防止	・コミュニティバス ・街路灯の設置 ・道路整備 ・標識の設置	5位	5	10.0%	E
	インフラ整備が悪い	家の前の道路を清潔に、又整備をする	市民の声が反映されたバリアフリー化	8位	4	8.0%	A
「道路などインフラの整備が不十分」に関する提案 合計					18	36.0%	
治安が悪い	治安が悪い	自治会・自警団のパトロール強化	防犯カメラと街路灯の設置(モデル地区設定と横展開の明示)	1位	10	20.0%	A
	治安が悪い	・地域コミュニティの強化 ・ボランティアの積極的参加	・左記への援助、サポート ・防犯カメラ設置の補助金 ・警察官のパトロール	9位	1	2.0%	D
「治安が悪い」に関する提案 合計					11	22.0%	
市のイメージが明確でなく知名度が低い	市の内外に対するPR不足(知名度が低い)	・市民コミュニティに参加するように心がける ・企業参加を働きかける一週りの人にもPRする	・目玉作りを積極的にPRし、利用しやすくする(文化施設・史跡・海岸線等のPR) ・自衛隊との共催イベントへの働きかけ	5位	5	10.0%	B
	市としての特徴がない	各地区が特徴のある地域づくりに取り組む(祭り等)	まちづくりの情報提供	5位	5	10.0%	C
「市のイメージが明確でなく知名度が低い」に関する提案 合計					10	20.0%	
ゴミ処理方法の改善	ゴミ処理方法の改善	分別意識を高める	分別のルール策定	3位	6	12.0%	D
公共施設の充実	公共施設が少ない(交番、図書館、スポーツ施設、美術館、集会場)	市の広報だけでなく、地元の回覧板などを利用して、公共施設が使えることを告知	施設の建設、告知(広報)	3位	6	12.0%	E

注釈) セッション①では、「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法」と「船橋市の問題点とその改善方法」の投票を同時に実施したため、前者に投票されるべき票が後者に投票されており、投票数合計が50票を超えている。

図表III-3 「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法」の討議に際して抽出された分野横断的課題に係る論点

魅力を活かす分野横断的な取り組みのアイデア	班
インフラ整備	D

問題点を解決する分野横断的な取り組みのアイデア	班
コミュニティの強化	D
通学路の市民パトロール(防犯にもなる)	E

## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■ 質疑応答

- ・ 提案の中でのゴミの分別項目が少ないとの指摘に関し、その理由について質問があり、理由の如何にかかわらず分別に関して市民の意識改革が必要との回答があった。
- ・ 提案の中での市の情報発信が少ないとの指摘に関し、市民が自ら情報を得ることも必要ではとの質問があり、市からのプッシュ型の情報提供強化が必要との回答があった。

### ■ 意見

- ・ 成田空港に近いことも強みであるとの意見が示された。

#### <質疑応答>

##### \* D班への質問

- ・ ゴミの分別について、船橋市のゴミ焼却炉の性能が高いため分別をすべき項目が少ないと聞いたことがあるが本当か。

→ D班より回答：

- ・ 仮に焼却炉が高性能だとしても、それを理由に全てのゴミを燃やすべきではなく、市民の意識を変える必要がある。

##### \* C班への質問

- ・ 市の情報発信が不足しているとのことだが、市民が自らインターネット等で情報を得ることも大切ではないか。

→ C班より回答：

- ・ インターネットはプル型の情報であるため、情報を自ら検索する必要があり、自ら必要であるときにしか情報を得ることができない。そのため、船橋市から強く情報を発信する必要がある。

#### <意見>

##### \* E班の提案への追加意見

- ・ 都心に近いことが船橋市の強みであることは同意する。これに加えて、成田空港に近いことも強みとして挙げられるのではないか。

## 2. 討議②：「環境負荷の少ない市民生活」～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～

### <討議テーマの説明>

船橋市を環境に与える負荷が少ない環境共生型の地域にするために、市民の生活スタイルの改善や、地域社会の仕組みやルールづくりなど、自然環境と共生した、資源循環型の都市生活と地域社会づくりのための「課題（目標とすべきこと）」は何か、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を検討し、最も大切だと考える3つのアイデアに整理してください。

### (1) グループ別討議の結果

#### ① 課題と対応策

車利用の抑制に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が28%を占めている。個別の提案では「CO<sub>2</sub>の削減（マイカーを減らす）」が課題であり、市民は「車の規制や公共交通の有効利用」に、市は「インフラ整備・道路拡幅・好アクセス化・レンタサイクル」に取り組むとする提案が、17.3%と個別提案の中で最も高い支持率を得ている。

次に省資源型のライフスタイルの確立に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が26.7%を占めている。個別の提案では「使い捨てから使い切りへの移行（エコ商品へ）」が課題であり、市民は「エコバックの利用、リサイクルシステムの利用」に、市は「情報開示、エコポイント」に取り組むことが必要であるとする提案が、12.0%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

さらにこれらに次いで、ゴミの適正処理に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が22.7%を占めている。個別の提案では「ゴミの減量化」が課題であり、市民は「各家庭で問題意識付け、分別の徹底」に、市は「ゴミ収集ルールの再検討（ゴミの再分別化）」に取り組むことが必要であるとする提案が、12.0%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

#### ② 分野横断的課題に係る論点

環境負荷の少ない市民生活に関連して、市政の複数の分野に係わる課題として、「海の“青化”」、「太陽電池の広範囲利用へ」、「インターネットをなるべく使う」、「啓蒙活動を市主体で行って、民間レベルの活動に展開できるようにする」といった論点が挙げられている。

図表III-4 「環境負荷の少ない市民生活」討議結果（その①）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の 類型	各グループの提案						
車利用の抑制	CO <sub>2</sub> の削減(マイカー利用を減らす)	・車の規制 ・公共交通の有効利用をすすめる	・インフラ整備 ・道路拡幅・好アクセス化・レンタサイクル	1位	13	17.3%	A
	車社会への抵抗	・自転車をなるべく使う ・地産地消 ・公共機関を使う	・駐輪場の増設を！ ・コミュニティバスの増便	8位	4	5.3%	C
	大気汚染(排ガス対策)	・公共交通機関の利用推進 ・自転車利用	・公共機関の整備(駅にエレベーター、エスカレーターの設置) ・カーシェアリング(自動車及び自転車)	8位	4	5.3%	D
	「車利用の抑制」に関する提案 合計				21	28.0%	
省資源型の ライフスタイルの 確立	使い捨てから使い切りへの移行(エコ商品へ)	・エコバックの利用 ・リサイクルシステムの利用	・情報開示 ・エコポイント	2位	9	12.0%	E
	資材の使用量を減らす	・レジ袋を使用しない ・音姫の利用 ・トレー・ペットボトルのリサイクル ・洗剤の少量化(アクリルたわしの使用)	・包装簡素化を企業に呼びかけ ・音姫の増設 ・エコ設備の積極利用へ	6位	5	6.7%	C
	無駄のない生活をする(生活レベルを落とす)	・使っていない電化製品の電源を切る ・古着(衣類)を地域リサイクル(使い捨てNO！)	フリーマーケットを市全体でも開催する	8位	4	5.3%	C
	リサイクル(ゴミ問題)	・エコバックの利用 ・雨水の再利用(貯めた雨水で水やり等)	・リサイクル活動の際の補助金・企画推進 ・公共施設での雨水利用 ・企業への簡易包装励行	12位	2	2.7%	D
「省資源型のライフスタイルの確立」に関する提案 合計				20	26.7%		
ゴミの適正 処理	ゴミの減量化	・各家庭での問題意識付け ・分別の徹底	ゴミ収集ルールの再検討(ゴミの再分別化)	2位	9	12.0%	A
	ゴミ問題(・タバコ・ゴミ区分・道路清掃)	・タバコ・・・1人1人のマナー向上 ・ゴミ区分・・・ゴミを出さなくする努力・工夫をする ・マイバックの使用を心がける	・タバコ・・・喫煙区域の明確化 ・ゴミ区分・・・区分を増やす(取り決めをしっかりとってもらう) ・レジ袋有料化の推進	4位	7	9.3%	B
	ゴミ処理方法	・家庭内で話し合う ・家庭内で処理	・ゴミ処理のPR ・エコ商店の認定と推進(シールの貼付)	14位	1	1.3%	E
「ゴミの適正処理」に関する提案 合計				17	22.7%		
自然環境の 保全	緑化活動	緑のカーテン設置	・街路樹の整備 ・利便性の良い立地に市民農園を	5位	6	8.0%	D
	・自然との共生 ・三番瀬を魅力ある海にする ・緑を増やす	近隣の緑化・清掃等の活動	・市民活動へのサポート(強力な) ・開発に対するコミュニティとの一体化	6位	5	6.7%	A
「自然環境の保全」に関する提案 合計				11	14.7%		



図表III-5 「環境負荷の少ない市民生活」討議結果（その①）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
公害の抑制	環境問題(1)(・排気汚染・工場汚染)	通報・監視(・アイドリングストップ運動・排水違法業者(工場事業主))	通報に関する指導・取り締まり等の強化	8位	4	5.3%	B
	公害環境汚染の防止	・電車・バスの利用 ・自転車の利用 ・家庭ごみの削減	・南北交通網の整備 ・企業によるゴミ処理の徹底 ・自転車専用レーン	12位	2	2.7%	E
	「公害の抑制」に関する提案 合計				6	8.0%	
街の美化(落ち葉の清掃)	環境問題(2)(自然環境等)例)落ち葉による排水溝の詰まり	落ち葉の清掃	街路樹の剪定	15位	0	0.0%	B

図表III-6 「環境負荷の少ない市民生活」の討議に際して抽出された分野横断的課題に係る論点

分野横断的な取り組みのアイデア	班
海の“青化”	A
・太陽電池の広範囲利用へ ・インターネットをなるべく使う	C
啓蒙活動を市を主体に行って、民間レベルの活動に展開できるようにする	D

## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■ 質疑応答

- ・ 提案の中で「使い捨て」と「使い切り」の違いは何かとの質問があり、不用品をリサイクルする活動を意図している旨の回答があった。

### ■ 意見

- ・ 提案への補足意見として将来の資源不足を見越して生活レベルを落とすことも考えるべきとの意見や、ムダのない生活をすべきとしつつも、消費を減らし過ぎると経済への負担も大きいためある程度に留めるべきとの意見が示された。

#### <質疑応答>

\* E班への質問

- ・ 「使い捨て」と「使い切り」の違いは何か。

→ E班より回答：

- ・ 例えば、リサイクルショップを船橋市内各地に設置し、自分は必要ないがまだ使えるものを各自が提供する。船橋市内でこのような活動が広まれば、船橋市内で「使い切る」ことができるのではないかと考えている。

#### <意見>

\* C班の提案への補足意見

- ・ 「生活レベルを落とす」ことは戦後の生活をイメージしている。私は昼間にトイレの電気を点けないようにしているが、青年層の多くは昼間でも電気を付ける人が殆どである。このような精神から直していく必要があると考えている。今後、発展途上国が消費社会になるにつれて、資源が不足する。そのことを見越して、予め生活レベルを落とすことも視野に入れた方がよいのではないかと考えている。

\* C班の提案への追加意見

- ・ 「無駄のない生活をする」と、「生活レベルを落とす」ことはやや意味が異なる。「無駄のない生活をする」ことは、不要な電気を消すなどの「もったいない精神」に近い。一方で、消費を減らしすぎると経済への負担も大きいので、ある程度のレベルで留めた方がよいとも考えている。

### 3. 討議③：「安心で安全な生活環境」～防犯・防災関係・地域コミュニティ～

#### <討議テーマの説明>

船橋市を誰もが安心して暮らすことのできる安全なまちにするために、犯罪や災害に対する備えと、それを支える地域コミュニティの維持・活性化など、安心で安全な生活環境づくりのための「課題（目標とすべきこと）」は何か、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を検討し、最も大切だと考える3つのアイデアに整理してください。

#### (1) グループ別討議の結果

##### ① 課題と対応策

地域コミュニティの活性化に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が34.8%を占めている。個別の提案では「自治会・町会ボランティアの活用<防災と防犯>」が課題であり、市民は「自治会・ボランティア活動の参加への意識向上」に、市は「自治会のサポート（報償制度確立・住民への情報提供）」に取り組むとする提案が、11.6%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

次に一人ひとりの防犯・防災への意識と備えに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が30.4%を占めている。個別の提案では「防災(一人一人が危機意識を持つ)」が課題であり、市民は「小規模単位で防災訓練をひんぱんに行い参加、訓練結果のフィードバック」に、市は「小規模単位での防災訓練の指導と補助(カンパン等)」に取り組むとする提案と、「防災(インフラの確保：水「消防・のみ水」)→真間川の利用などを考える」が課題であり、市民は「道具に対するトレーニング(ポンプなど)、市民意識の向上(訓練に参加)」に、市は「インフラの整備(手押しポンプ)、近隣都市との協力体制構築」に取り組むとする提案が、ともに10.1%と個別提案の中で3位の支持率を得ている。

さらにこれらに次いで、地域の防犯・防災体制づくりに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が18.8%を占めている。個別の提案では「町会・自治会、市役所、警察・消防署と連携を強める」が課題であり、市民は「かけこみ所・避難所マップ作成に協力、相談、行事参加、建物の耐震チェックに協力、等」に、市は「防犯カメラの計画的な設置、身近に感ずる防犯・防災交通マップの作成、学校との連携」に取り組むとする提案が、15.9%と個別提案の中で最も高い支持率を得ている。

##### ② 分野横断的課題に係る論点

安心で安全な生活環境に関連して、市政の複数の分野に係わる課題として、「市の美化運動(結果として防犯防災へつなげる)」、「向う三軒両隣の小単位での組合設置」、「住民票届けの際に地域町内会の案内を」、「活動の中心となる最初のインストラクターの育成」、「電柱の警報ブザー設置(鳴ることで周囲の家の人に知らせる→防犯・火災・倒れた人を助ける)」、「町会・自治会、市、警察・消防の連携」といった論点が挙げられている。

図表III-7 「安心で安全な生活環境」討議結果（その①）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
地域コミュニティの活性化	自治会・町会ボランティアの活用<防災と防犯>	自治会・ボランティア活動の参加への意識向上	自治会のサポート(報償制度確立・住民への情報提供)	2位	8	11.6%	A
	町会・自治会の充実	・マンション・アパート住民への参加要請 ・町会行事と活動のPR	事例を調査・研究して具体的にPR	6位	6	8.7%	E
	コミュニティの活性化	①地域での挨拶をする ②声をかけて資料配布	警察の掲示板を活用	10位	3	4.3%	D
	コミュニティ高齢化への対応を行う ・新・旧交流での意識向上「船橋都民から船橋市民へ」	・町会・自治会の再組織化(本質としてのもの) ・各種勉強会の実施(例:手押ポンプ…)	・場所の提供 ・事例(成功・失敗)の各自治会への提供	3位	7	10.1%	C
「地域コミュニティの活性化」に関する提案 合計					24	34.8%	
一人ひとりの防犯・防災への意識と備え	防災(一人一人が危機意識を持つ)	①小規模単位で防災訓練をひんぱんに行う、参加! ②訓練結果のフィードバック	小規模単位での防災訓練の指導と補助(カンパン等)	3位	7	10.1%	D
	防災(インフラの確保;水「消防のみ水」→真間川の利用などを考える)	道具に対するトレーニング(ポンプなど) 市民意識の向上させる(訓練に参加)	・インフラの整備(手押しポンプ) ・近隣都市との協力体制の構築	3位	7	10.1%	C
	防犯意識の向上	・外部者に対するアピール ・防犯責任者の表示(大人も子供も)あいさつ運動の展開	・コンビニと市の提携(24時間!) ・市全体で「あいさつ運動」広める ・交番の増設、交番の機能強化(人がいない交番が多い)	8位	4	5.8%	B
	防犯(自助!)	個々に意識を高める(ex. 防犯ブザーの携帯)	①電柱に警報ブザーを設置(防犯にも防災・人助けにもなる) ②防犯灯(LED)を増やし明るくする ③犯罪の多発している所へ防犯カメラを増やす	10位	3	4.3%	D
「一人ひとりの防犯・防災への意識と備え」に関する提案 合計					21	30.4%	
地域の防犯・防災体制づくり	安心で安全な生活環境づくりのため、「町会・自治会」「市役所」「警察・消防署」と連携を強める。	・かけこみ所、避難所マップの作成に協力 ・誰でも訪れる場所をつくり、気軽に相談する ・地域でも行事に参加、建物の耐震チェックに協力	・防犯カメラの計画的な設置 ・身近に感ずる防犯・防災交通マップの作成 ・学校との連携	1位	11	15.9%	E
	防災体制の確立	(個人では備蓄も限界があるので)町会レベルでの備蓄	町会などの小単位の備蓄に対する援助	12位	2	2.9%	B
	防犯体制の強化 ・パトロールの強化 ・設備の増強	今風となり組によるパトロール実施→「設備に問題のある地区を市に知らせる」	積極的な設備計画の策定と実施	13位	0	0.0%	C
「地域の防犯・防災体制づくり」に関する提案 合計					13	18.8%	
街の美化運動	市の美化運動(シンガポールのイメージ)<防犯・防災>	各住民の自助努力	条例制定 及び バックアップ(広報等)	7位	5	7.2%	A

図表III-8 「安心で安全な生活環境」討議結果（その②）

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
交通安全の確保	道路の整備<防犯・防災>	各住民のモラルアップ (個人商店の人は歩道に商品を置かない、歩道の自転車操行禁止等)	・道路の拡幅 ・舗道の整備 ・違法駐車駐輪等	8位	4	5.8%	A
	違法駐車根絶 ①救急車両のジャマ ②犯罪につながる事故	通報などの情報提供	警察力の強化(質量とも)	13位	0	0.0%	B
	「交通安全の確保」に関する提案 合計				4	5.8%	

図表III-9 「安心で安全な生活環境」の討議に際して抽出された分野横断的課題に係る論点

分野横断的な取り組みのアイデア	班
市の美化運動 → 結果として防犯防災へつなげる	A
・向う三軒両隣の「小単位での組合」設置 ・住民票届けの際に地域町内会の案内を	B
活動の中心となる最初のインストラクターとなる人の育成	C
☆電柱の警報ブザー設置は我が班の花マル◎ 鳴ることで周囲の家の人に知らせる →防犯・火災・倒れた人を助けることにも	D
「町会・自治会」「市」「警察・消防」の連携	E

## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■意見

- ・ 交通案内や避難所・ルートがわかる区全域の地図があると良いとの意見があり、市より既に同様の地図を作成、配布している旨の回答があった。
- ・ これに対し、さらに防災関連情報だけでなく地域の魅力的なスポットについても書かれている地図があると良いとの意見もあった。
- ・ 市内各地区での安全安心に係る取り組みの成功事例、失敗事例をデータベース化し提供することが必要との意見があった。

### <意見>

- ・ 世田谷区では、区全域の地図を作成している。交通案内・避難所およびそのルートを把握することができる。  
→市より回答：
  - ・ 本市も平成 19 年度に、河川整備課と共同で水害ハザードマップと防災マップを併せたマップを全戸配布させていただいている。
- ・ 世田谷区の防災マップは、防災に関する情報だけではなく、地域の魅力的なスポットについても書かれていることがよいと感じた。地域の魅力について述べているマップがあれば、市民が船橋市の魅力に気づき、転出を抑制するきっかけになるのではないかと。
- ・ 各地区での安全安心に係る取り組みの成功事例・失敗事例をデータベース化し、各自治会・町会に対して情報提供をしたことはあるか。  
→市より回答：
  - ・ 結成後の自主防災組織からは、活動に関する計画等の提供は求めているが、基本的には各組織が自主的に取り組んでいる。

#### 4. 討議④：「活力ある都市への魅力づくり」～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～

##### <討議テーマの説明>

船橋市を若い世代をはじめ多様な人々が集う活力ある都市とするために、産業の振興や雇用の創出、魅力ある街並みと都市機能の集積など、都市の魅力づくりのための「課題（目標とすべきこと）」は何か、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を検討し、最も大切だと考える3つのアイディアに整理してください。

#### (1) グループ別討議の結果

##### ① 課題と対応策

独自のブランドなど地域のイメージづくりに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が 36.2%を占めている。個別の提案では「船橋のイメージ作り」が課題であり、市民は「船橋の良さ、歴史を町内会でまとめることや市のイベントへの参加」に、市は「市民祭りを全国的にPR(ばか面おどりのコンクールなど)」に取り組むとする提案が、15.9%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

次に、類似する提案がないため単独の個別提案だが「地域の一体感の創出」が課題であり、市は「スポーツチームの誘致」に、市民は「市民応援団を作る、試合を見に行く！」に取り組むとする提案が、20.3%と個別提案の中で最も高い支持率を得ており、その水準は、地域のイメージづくりを除くと、類似する個別提案をまとめた各類型と比較しても同等以上となっている。

さらにこれに次いで、地元産業の振興に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が 20.3%を占めている。個別の提案では「目玉商品をつくる」が課題であり、市民は「船橋産を使う、買う」に、市は「船橋産の認証とポイントの付与」に取り組むとする提案が、10.1%と個別提案の中で5位の支持率を得ている。

##### ② 分野横断的課題に係る論点

活力ある都市への魅力づくりに関連して、市政の複数の分野に係わる課題として、「船橋市の目玉(特産品)をつくる為に商工会議所と地元商店街や大型店との連携」、「スポーツ推進と地域(周辺も含む)交流」、「これぞ船橋！！というものを見つける(アンケート … etc)」、「企業や大学と連携してアピール」、「船橋の利便性を活かして移住者を増やす」、「福祉と思いやりのある街づくり」といった論点が挙げられている。

図表III-10 「活力ある都市への魅力づくり」討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の類型	各グループの提案						
独自のブランドなど地域のイメージづくり	船橋のイメージ作り	・船橋の良さ、歴史を町内会でまとめる ・市のイベントへの参加	市民祭りを全国的にPR(ばか面おどりのコンクール)	2位	11	15.9%	E
	船橋のブランドを作る(観光船橋「坂の上の雲」タイアップPR)	住民からのブランド起こし(イケメンコンテスト、地元ヒーロー、ドラマ誘致・有名人)	【市にサポートして欲しいこと】 広報等バックアップ(市との連携等)	3位	9	13.0%	D
	船橋を想起させるブランドの確立	地産地消の推進(まず地物を知る)	生産地区の安全安心を発信する仕組みを作る(土壌検査)	8位	3	4.3%	B
	船橋市の目玉をつくる	アイデアの創設	専門家やプロジェクトに提案してもらい実現する	10位	2	2.9%	A
	目玉がない	目玉となる商品・場所を作る	市民・市・企業で一体となり考える	14位	0	0.0%	C
「独自のブランドなど地域のイメージづくり」に関する提案 合計					25	36.2%	
地域の一体感の創出	船橋市全体の一体感を作る	・市民応援団を作る ・試合を見に行く!	スポーツチームの誘致	1位	14	20.3%	C
地元産業の振興	目玉商品をつくる	船橋産を使う、買う(市民は)	船橋産の認証とポイントの付与	5位	7	10.1%	E
	産業の活性化	地域の商店等を出来るだけ利用	ベンチャー企業の誘致と更なる助成	6位	4	5.8%	A
	地元利用(地産地消)	船橋地元住民の利用	・場の提供等(船橋市場の活用) ・企画運営支援	8位	3	4.3%	D
	立地を生かした経済活動ハブ化	地元を知る(自治会単位での工場見学)	「知る」為の情報提供	14位	0	0.0%	B
「地元産業の振興」に関する提案 合計					14	20.3%	
暮らしやすい環境づくり	高齢者と若い人達が住みたいと思う環境作り	託児所の提供・高齢者と若い人が集う場所(空商店や学校や空家等を利用)	援助と助成と誘致	4位	8	11.6%	A
商店街の魅力の向上	魅力ある商店街をつくる	案内マップを作成	子供と高齢者が使いやすいインフラ整備	10位	2	2.9%	E
	独特な商店街を作る	・どんどん参加して楽しむ ・市民会議等で話し合いの機会を作る	地元の情報を広報・地域新聞・回覧板等で発信	10位	2	2.9%	C
	大型店舗～商店街の展開・活性化	地元の企業(商店などに)興味をもつ	PR等 集客をテーマとし、出店をサポート	13位	1	1.4%	D
「商店街の魅力の向上」に関する提案 合計					5	7.2%	
知識の伝承と潜在活力の活用	知識の伝承と潜在活力の活用	・地域交流の向上 ・成功・失敗の事例の活用	①情報の成功・失敗の事例の提示 ②今あるものの活用も含め、利用・協力の体制	10位	2	2.9%	B

図表III-11 「活力ある都市への魅力づくり」の討議に際して抽出された分野横断的課題に係る論点

分野横断的な取り組みのアイデア	班
船橋市の目玉(特産品)をつくる為に商工会議所と地元商店街や大型店との連携	A
スポーツ推進と地域(周辺も含む)交流	B
・これぞ船橋!!というものを見つける(アンケート... etc) ・企業や大学と連携してアピール	C
船橋の利便性を活かして移住者を増やす	D
福祉と思いやりのある街づくり	E



## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■ 質疑応答

- ・提案の中で「坂の上の雲」を取り上げることに関し、今からでは遅いのではとの質問があり、期間限定の話ではないので問題ない旨の回答があった。
- ・市内のNPOの活動事例について知りたいとの質問があり、市からまちづくり関連のNPO法人は把握していないが、商店会とNPO法人が協働した事例はあるとの回答があった。

#### <質疑応答>

##### \*D班への質問

- ・船橋市で「坂の上の雲」を取り上げることは非常に旬だと思うが、3月で番組が終了することもあり、今から実施することは可能か。

→D班より回答：

- ・司馬遼太郎氏の「坂の上の雲」は、数年前に産経新聞に再掲載され好評を博し、満を持してNHK大河ドラマで扱う運びになった。加えて、戦国時代～昭和時代に繋がる重要なテーマを扱っており、期間限定の話題ではないため、取り上げる意義があると考えている。

##### \*市への質問

- ・船橋市でもNPO法人があり、福祉、健康や歴史など様々な活動があると思うが、事例があればご教示いただきたい。

→市より回答：

- ・船橋市内には、商工振興課と接点がある「まちづくり」関連のNPO法人は殆どない。「まちづくり」関連のNPO法人以外では、最近、ある団地を活性化させるため、商店会とNPO法人が協働したという事例がある。

## 5. 討議⑤：「これからの保健福祉」～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～

### <討議テーマの説明>

船橋市を誰もが健康で生き生きと暮らすことのできる環境とするために、子育ての支援や障害者・高齢者への福祉サービスの充実、市民の健康づくりの支援など、今後の適切な保健福祉サービスの確立のための「課題（目標とすべきこと）」は何か、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を検討し、最も大切だと考える3つのアイディアに整理してください。

#### (1) グループ別討議の結果

##### ① 課題と対応策

子育て家庭への支援に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が34.7%を占めている。個別の提案では「私立保育園の持病がある子の受け入れ体制に問題」が課題であり、市民は「地域・市・国に呼びかけるサークルをつくる（世の中の認知度 UP!）」に、市は「私立でなく市立の保育を増やし空き教室で保育園を作る、泣く外来をやる（公民館等へ看護師や保健師を配置し子どもが泣いて困った時に連れて行って良い場所を設ける）」に取り組むとする提案が、17.3%と個別提案の中で1位の支持率を得ている。

次に、高齢者、障害者の社会参加の促進に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が28.0%を占めている。個別の提案では「高齢者と障害者の雇用」が課題であり、市民は「心理的・社会的偏見をなくす」に、市は「シルバー人材センターの宣伝、優良企業をサポート」することに取り組む、とする提案が、10.7%と個別提案の中で3位の支持率を得ている。

##### ② 分野横断的課題に係る論点

これからの保健福祉に関連して、市政の複数の分野に係わる課題として、「インフラ整備：リサイクル（廃材・パイプ）品を利用した手すり等の整備、公園にブザー」、「船橋マラソン開催（徒歩も可→高齢者もみんなも元気に。交流がはかれる）」、「少子・高齢化への対応を船橋から発信」といった論点が挙げられている。

図表III-12 「これからの保健福祉」 討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の種類	各グループの提案						
子育て家庭への支援	私立保育園の持病がある子の受け入れ体制に問題	・地域・市・国に呼びかけるサークルをつくる(世の中の認知度UP!)	・私立でなく市立の保育を増やし、あき教室で保育園。 ★泣く外来をやる。(泣いたら行っていい場所。Ex)児童ホーム・毎週)	1位	13	17.3%	D
	子育て(負担の軽減)	一人一人が自分の問題として自覚する。周りにも気を配る。	・一時保育を利用できる枠を増やす。 ・“相談員”を週1程度、保育園・幼稚園・児童ホームに派遣。	2位	9	12.0%	B
	子育て支援(含親)	声かけをする	心理カウンセラー士の雇用と要請	9位	2	2.7%	A
	子育て支援	学校(空室)・公民館の活用とボランティアの協力・参加。(高齢者・経験者)	ハード面の活用支援・ソフト面の充実化	9位	2	2.7%	E
「子育て家庭への支援」に関する提案 合計					26	34.7%	
高齢者、障害者の社会参加の促進	高齢者と障害者の雇用	心理的・社会的偏見をなくす	・シルバー人材センターの宣伝 ・優良企業としてサポート	3位	8	10.7%	A
	障害者が活動しやすい環境づくり	* 歩道の利用マナーの向上 ・商品の陳列をしない ・自転車放置をしない ・障害者に配慮した歩行(点字ブロックなどバリアフリー確保)	・歩道への商品・看板の設置禁止の指導	6位	6	8.0%	C
	介護予防事業への参加促進	・高齢体験 ・「老人会」の名前を変更	・公民館の活用(職員の増加) ・敬老会等での催し物への参加への声掛け	8位	5	6.7%	A
	高齢者をもっと元気に!!	・市の行事に関心をもち参加 ・周囲にも参加よびかけを!	ウォーキングコース、地図の設定、作成	9位	2	2.7%	B
「高齢者、障害者の社会参加の促進」に関する提案 合計					21	28.0%	
世代を越えた支援と交流の環境整備	子育てと高齢者福祉との連携	お互いを理解しあう。	保育園、幼稚園、障害者、高齢者のコラボレーション施設	3位	8	10.7%	B
	地域の集会所設置	・趣味を中心にしたコミュニケーションの場づくり ・世代を問わない集会所(児童、小～中学生・高齢者～)	・公共施設(小中学校の空き部屋等) ・既存施設(福祉センター、図書館、公民館)のPR	9位	2	2.7%	C
「世代を越えた支援と交流の環境整備」に関する提案 合計					10	13.3%	
医療環境の充実	障害・高齢・児童医療費支援	健康増進の取り組み	医療費の補助(無料化ではない)	3位	8	10.7%	E
介護者の支援	・親・介護者にゆとりがない。(介護疲れ・育児疲れ・虐待)	・認知症サポーター養成講座などに参加して認知度UP。 ・おやじの会をやる。	・手続きの簡素化 ・養成講座のPR(ハガキなど直接)地域の市職員の方が直接とどける。	6位	6	8.0%	D

図表III-13 「これからの保健福祉」の討議に際して抽出された分野横断的課題に係る論点

分野横断的な取り組みのアイデア	班
インフラ整備:リサイクル(廃材・パイプ)→手すり 公園にブザー	A
船橋マラソン開催(徒歩も可)→(高齢者もみんなも元気に。交流がはかれる)	B
少子・高齢化への対応を船橋から発信	E

## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■ 質疑応答

- ・市の資料に対し、施策の目標が抽象的過ぎるとの指摘があり、市より、策定中の新しい計画はより具体的な計画としていきたい旨の回答があった。
- ・また、発表用シートの中に記されていた「泣く外来」の実例の有無について質問があり、多様な主体によって公民館や児童ホームに子供が泣いたら連れて行ってもよい場所を運営することを指していると回答があった。

### ■ 意見

- ・保育園における、看護師不在による病児が受け入れられない状況に対し改善策を求める意見があり、市より関連する今後の取り組みについて説明があった。
- ・福祉分野における取り組みのPRが不足しているとの意見があった。
- ・今後、小中学校の生徒数が減少することに伴い、空き校舎・空き教室を利活用することが大切だとの意見があった。

### < 質疑応答 >

#### \* 市への質問

- ・市の「これからの保健福祉」という資料について、「地域全体の健康水準アップ」という目標は抽象的すぎる。健康水準は、平均寿命なのか、介護の状況であるのか等、具体的な目標を明確にしてほしい。

→市より説明：

- ・市では、「ふなばし健やかプラン21」の後期計画を現在策定中であり、パブリックコメントで市民に意見を諮っている。この計画では各事業の主体を明示するなど具体的なプランを掲げたいと考えている。今後再度のパブリックコメントや説明会で可能な限り多くの市民のご参加・ご意見をいただきたいと考えている。

#### \* D班への質問

「泣く外来をやる」という提案があるが、そういったものの実例はあるのか。

→D班より回答：

- ・名称はインパクトが強くなるように考えて付けたもの。具体的なイメージは、公民館や児童ホームに子どもが泣いたら連れて行って良い場所を設けて、そこに看護師や保健師を配置するほか、地域のボランティアなども協力して運営するというもの。

### < 意見 >

#### \* D班の意見への補足

- ・保育園では看護師でないと薬を投薬できないルールになっているが、殆どの私立保育園には看護師が在籍しておらず、健康な子供でないと入園できない。このような子供の保護者への支援策を船橋市から提示してほしい。

→市より説明：

- ・市では各児童に発達支援児であるかを確認し、該当する子供に対して各園で体制が整い次第対応したいと考えている。しかし、看護師が不足しており、市立の全27保育園では全て看護師を配置しているが、私立の保育園では配置していないことが多い。そのため、市では私立の保育園に対して支援を行っている。
- ・今後、公立保育園と私立保育園との役割分担を決める必要があると考えている。

#### \* その他の意見

- ・今後、小中学校の生徒数が減少することに伴い、空き校舎・空き教室を利活用することが大切だと感じている。
- ・高根地区の社会福祉協議会で「さえすり」という機関誌を発行しており、同地区の行事等についてPRしている。このようなPR活動が欠けており、より地域に情報発信する必要があるのではないかと考えている。

## 6. 討議⑥：「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」

### <討議テーマの説明>

これまで議論したテーマ（分野）ごとの取り組みのアイデアに対し、複数のテーマ（分野）に関連する分野横断的な課題として、今後「特に優先的・重点的に取り組むべき課題（目標とすべきこと）」は何か、を取り上げ、それを実現するために「市民として何に取り組むか」、「市はどんなサポートをすべきか」を検討し、最も大切だと考える3つのアイデアに整理してください。

この討議での課題は、船橋市の発展に不可欠であり、さまざまな分野の活性化につながるような、特に重要で効果の高い取り組みを考えてください。

### （1）グループ別討議の結果

#### ① 課題と対応策

ブランド化などによる船橋市の知名度アップに関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が41.3%を占めている。個別の提案では「船橋としての食の打ち出しが薄い」が課題であり、市民は「地元の価値を知る」に、市は「市による食の宣伝→イベント等での優先的地元品打ち出し」に取り組むとする提案が、16.0%と個別提案の中で1位の支持率を得ている。

次に、支え合いと交流の環境整備に関連する提案への支持率が高く、こうした内容の提案に対する支持率が29.3%を占めている。個別の提案では「世代を超えた交流できる街」が課題であり、市民は「子供の会・おやじの会・婦人会・シルバー会等を造る、地域・一般の人が先生になる教室を週に1回でも開催」に、市は「学校等の空き教室等を会（サークル）に提供」に取り組むとする提案が、13.3%と個別提案の中で2位の支持率を得ている。

図表III-14 「分野横断的な取り組み（市民が考えるリーディングプラン）」討議結果

課題		市民が取り組むこと	市にサポートして欲しいこと	順位	投票数	支持率	班
提案の 類型	各グループの提案						
ブランド化 などによる 船橋市の知 名度アップ	船橋としての食の打ち出しが薄い	地元の価値を知る	・市による食の宣伝→イベント等での優先的地元品打ち出し	1位	12	16.0%	E
	★船橋市の認知度アップ No.1	船橋にゆかりがある人(太宰治、川端康成、源頼朝など)を全面に出して街歩きマップ作成	・史跡等の資料を提供してもらおう ・市のPRボランティアを募集	3位	6	8.0%	C
	★船橋市の認知度アップ No.2	船橋体操を実施	・「船橋の日を設定」(2/7、8/4) ・出身有名人(文化人・芸能人)をPR大使に ・船橋体操を作る	3位	6	8.0%	C
	船橋ブランド作り	地産・地消、プロスポーツ立上げ	情報の共有化促進(広報活動強化)	8位	4	5.3%	D
	★船橋市の認知度アップ No.3	積極的参加	市場をドーム化(イベント及び市場の一体化)	11位	3	4.0%	C
「ブランド化などによる船橋市の知名度アップ」に関する提案 合計					31	41.3%	
支え合いと 交流の環境 整備	世代を超えた交流できる街	・子供の会、おやじの会、婦人会、シルバー会等を造る。 ・地域・一般の人が先生になる教室を週に1回でも開催	学校等の空教室等を会(サークル)に提供	2位	10	13.3%	A
	船橋独自の福祉政策	助けて育てる(船橋都民→船橋市民)	環境のコーディネート(助けて育てるをやっていく為に)	3位	6	8.0%	E
	少子・高齢化への対応	サポーターになる	・情報の共有化促進(広報活動強化) ・子育て支援 ・高齢者支援の講習会開催等	6位	5	6.7%	D
	助け合える幸せな街作り	若い世代～高齢者世代のコミュニティ活動参加	情報の共有化促進(広報活動強化)	14位	1	1.3%	D
「支え合いと交流の環境整備」に関する提案 合計					22	29.3%	
地域活動の 活性化	ネットワークが構築された街	地域活動や会(サークル)の詳細情報提供	・船橋市のインターネットに「市民活動」のページを設ける。 ・会(サークル)の把握と連絡網を作る。	6位	5	6.7%	A
スポーツの 振興	スポーツの船橋	みんなで楽しむ	施設や土地を利用し、スポーツ大会企画&宣伝	8位	4	5.3%	E
住みやすい 街づくり	みんなが住みやすい街づくり	・各自で清掃活動及び緑化活動に、積極的に行う。 ・防犯意識を高める。	・活動(ボランティア)の積極化の為にポイント付与(ex.市川市のエコポカード) ・交番の質・量・強化の要望	8位	4	5.3%	B
医療の充実	医療充実の街	セカンドオピニオンをする。積極的にする。	・専門医の充実、ネットワーク化 ・市民当事者の声を反映するシステムを作る。	11位	3	4.0%	A
財政の健全化	財政の健全化(高齢化が進むことを見越して)	地産地消、地元での買い物がしやすい街づくり	無駄を無くす	11位	3	4.0%	B

## (2) 発表時の質疑応答・討議内容

主な内容は以下の通り。

### ■ 質疑応答及び意見

- ・市に対し、障害をもつ子どもがなぜ看護師がいる保育園に優先的に入園することができないのか、また、軽度な障害のケースも含め、障害のある子をもつ親への保育サービスの提供と就労支援について、充実を求める意見があった。

#### <質疑応答>

##### \* 市への質問

- ・障害を持つ子供が、なぜ看護師がいる保育園に優先的に入園することが出来ないのか。また、誰もが受けてしかるべき支援が受けられないことについて、船橋市はどのように考えているのかご回答いただきたい。

##### →市より回答

- ・船橋市では待機児童が多く、そもそも保育園の数が足りていない。保育園の入園については、就労状況など諸条件を点数化し、点数が高い家庭の子どもから入園いただいています。障害をもつ子供の保育園の入園は、状況をみてから対応させていただいている。

#### <意見>

- ・障害のある子どもにとって、市立保育園は看護師が在籍しているが数が少ないため入園できず、私立保育園は看護師がおらず子供へ薬の投与ができないため入園できない。また、近年は喘息やアトピーを持っている子供が多く、発達障害のようにグレーな障害も多いが、このような子供に対する受け皿が弱いと感じている。当事者でないと分からない問題もあるので、今回の市民会議のような場を設けて、当事者から意見を聴取していただきたい。
- ・検討事項が増え、組織が大きくなるとどうしても縦割りになってしまう。討議⑥がこのような縦割りの弊害を抽出することが目的ならば、現在船橋市では横のつながりはどのような状況となっているのか示してほしい。
- ・障害児の子供が市立の保育園に入園できないという問題は、保護者が就労していないと入園できないようにも捉えられる。就労したいが子供の状況を鑑みて、就労を選択しない保護者もあり、このような人への支援についても、ぜひご検討いただきたい。

## IV. 市民会議の評価と課題の整理

### 1. 参加者アンケート調査結果から見た市民会議の評価

参加者の意見や評価を把握し、今後の市民参加に係る取り組みの参考とするため、会議終了後に参加者へのアンケート調査を実施し、全参加者28名中26名（回収率92.9%）の回収を得た。

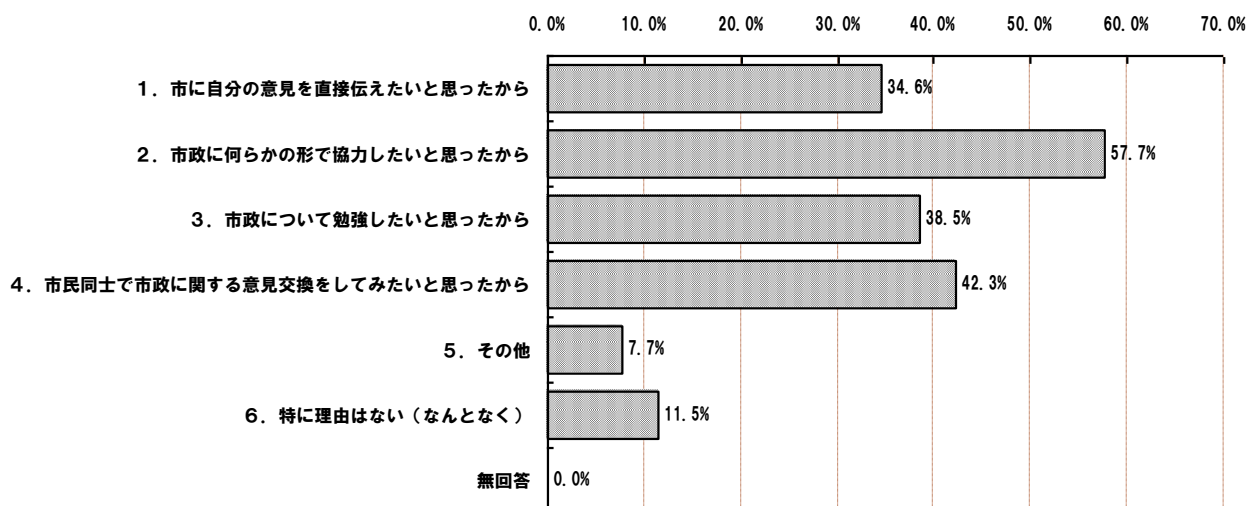
その結果は以下の通りである。

#### (1) 参加の動機

「市政に何らかの形で協力したいと思ったから」が57.7%で最も多く、過半数の回答者が動機に挙げている。これに次いで、「市民同士で市政に関する意見交換をしてみたいと思ったから」（42.3%）、「市政について勉強したいと思ったから」（38.5%）が多くなっている。

図表IV-1 参加の動機について（複数回答）

(n=26)



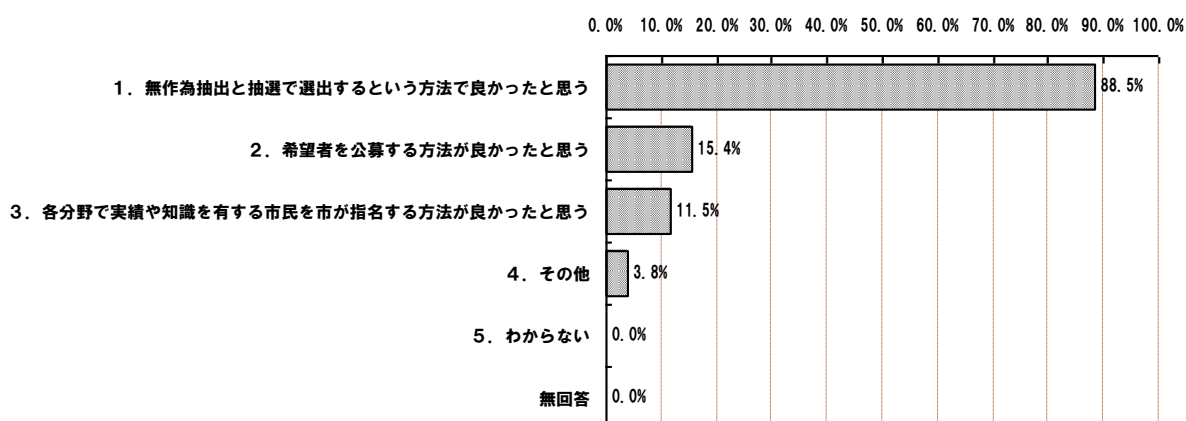
#### (2) 市民会議への感想・意見

##### ① 参加者の選出方法について

「無作為抽出と抽選で選出するという方法で良かったと思う」が88.5%で最も多く、大部分の回答者が今回の選出方法を肯定している。

図表IV-2 参加者の選出方法について（複数回答）

(n=26)



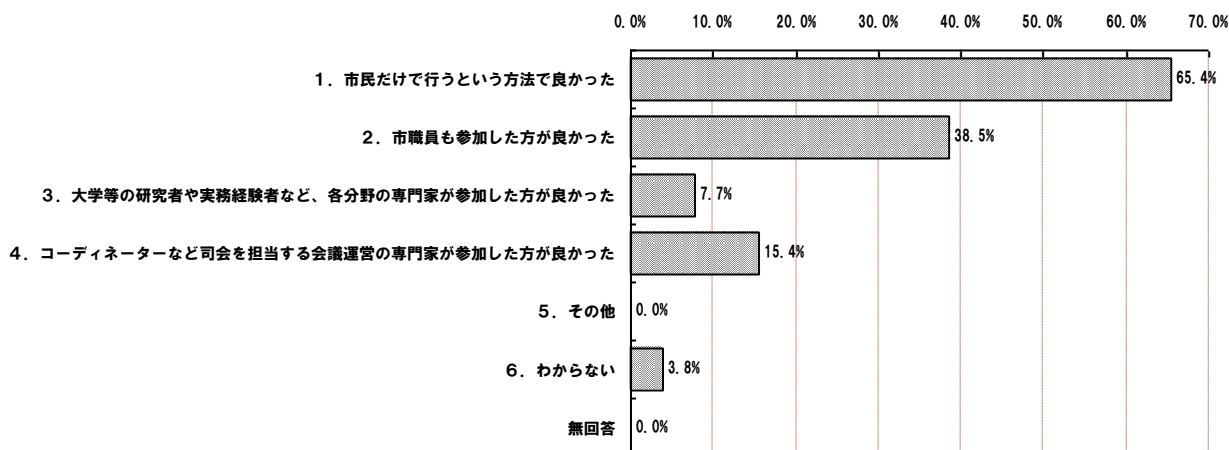


## ② 会議の運営方法について

「市民だけで行うという方法で良かった」が65.4%で最も多く、過半数を占めている。これに次いで「市職員も参加した方が良かった」（38.5%）が多くなっており、原則市民だけで会議を運営し、各グループに一名のサポート役として市職員がいた今回の会議運営方法は概ね肯定的に受け止められていたと考えられる。

図表IV-3 会議の運営方法について（複数回答）

(n=26)

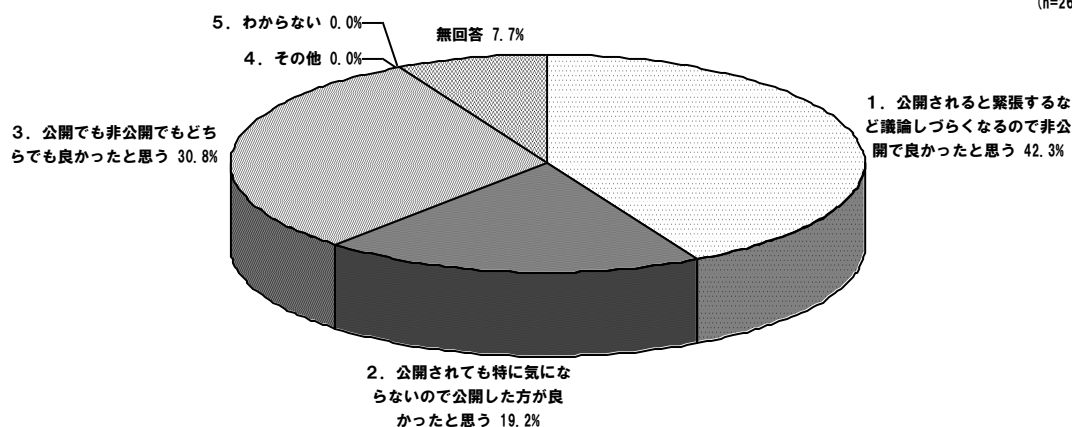


## ③ 会議の公開・非公開について

「公開されると緊張するなど議論しづらくなるので非公開で良かったと思う」が42.3%で最も多く、これに次いで「公開でも非公開でもどちらでも良かったと思う」（30.8%）が多くなっている。「公開されても特に気にならないので公開した方が良かったと思う」は19.2%であり、非公開とした今回の方法は概ね適切であったと考えられる。

図表IV-4 会議の公開・非公開について（単数回答）

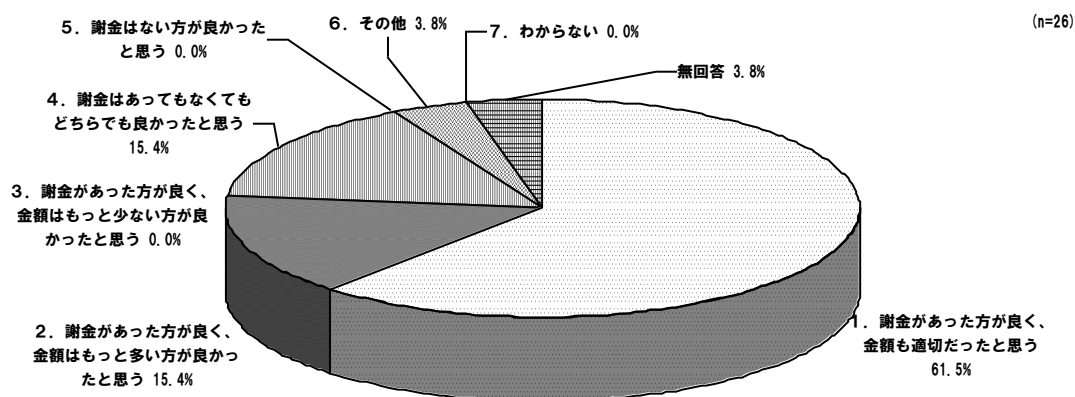
(n=26)



#### ④ 謝金について

「謝金があった方が良く、金額も適切だったと思う」が61.5%で最も多く、これに次いで「謝金があった方が良く、金額はもっと多い方が良かったと思う」、「謝金はあるがなくてもどちらでも良かったと思う」が多いがともに15.4%にとどまっており、謝金の支払い及びその額について、今回の方法は概ね適切であったと考えられる。

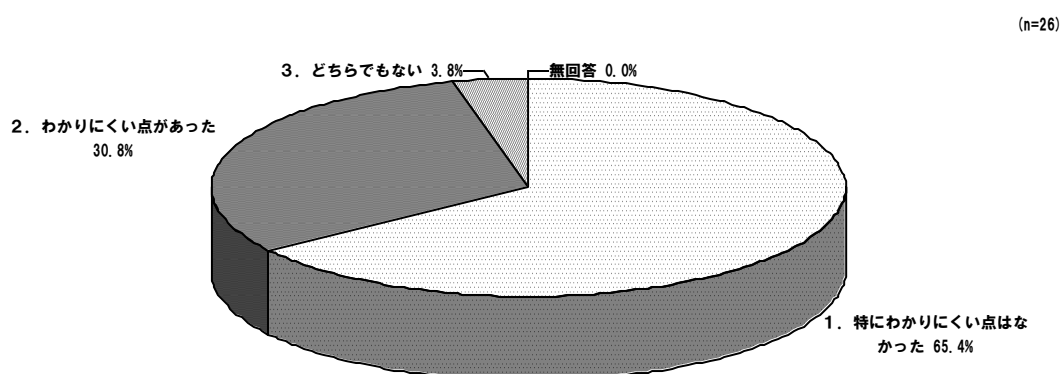
図表IV-5 謝金について（単数回答）



#### ⑤ 会議資料及び説明について

「特にわかりにくい点はなかった」が65.4%で最も多く、これに次いで「わかりにくい点があった」（30.8%）が多くなっている。わかりにくい点として具体的に挙げられた点は、「詳細資料はわかりやすいが、パワーポイントのレジュメが荒い」、「文書、文章だけでなく、絵などの工夫がほしい」、「何を市がやりたいと思っているのか、見えにくい。要点でよい。」、「具体性にかける」、「資料が多すぎる」、「もう少し具体的な内容が欲しかった」などである。

図表IV-6 会議資料及び説明等について（単数回答）

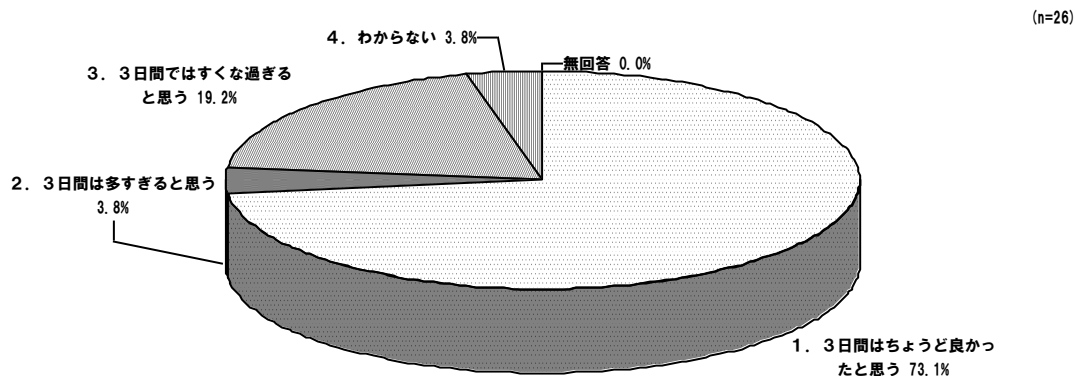


## ⑥ 会議の日数や時間について

### a) 会議の日数について

「3日間はちょうど良かったと思う」が65.4%で最も多く、これに次いで「3日間ではすくな過ぎると思う」(19.2%)が多くなっている。すくな過ぎると回答した参加者が望ましいと答えた日数は5日が3名、5～7日が1名である。

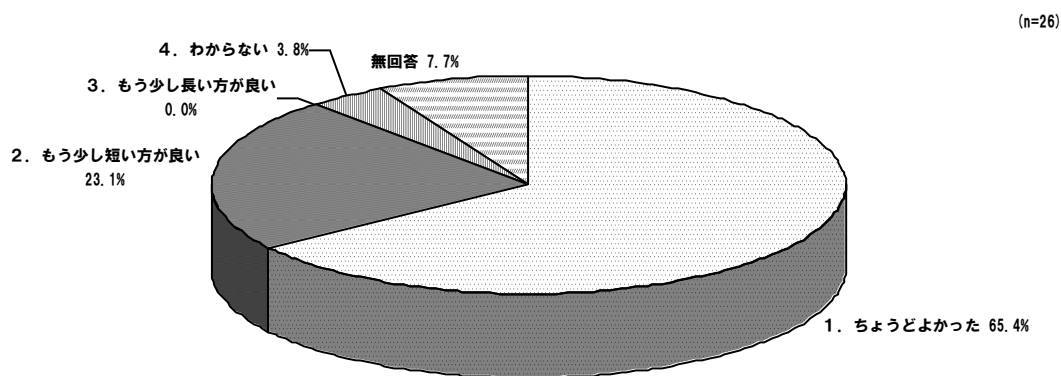
図表IV-7 会議の日数について (単数回答)



### b) 一日の討議時間について

「ちょうどよかった」が65.4%で最も多く、これに次いで「もう少し短い方が良い」(23.1%)が多くなっている。

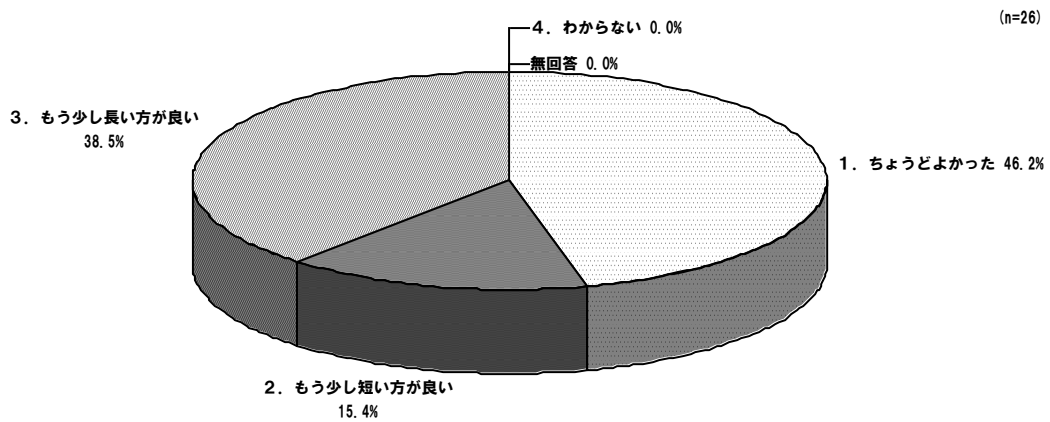
図表IV-8 一日の討議時間について (単数回答)



c) 討議テーマごとの討議時間について

「ちょうどよかった」が46.2%で最も多く、これに次いで「もう少し長い方が良い」(38.5%)が多くなっている。

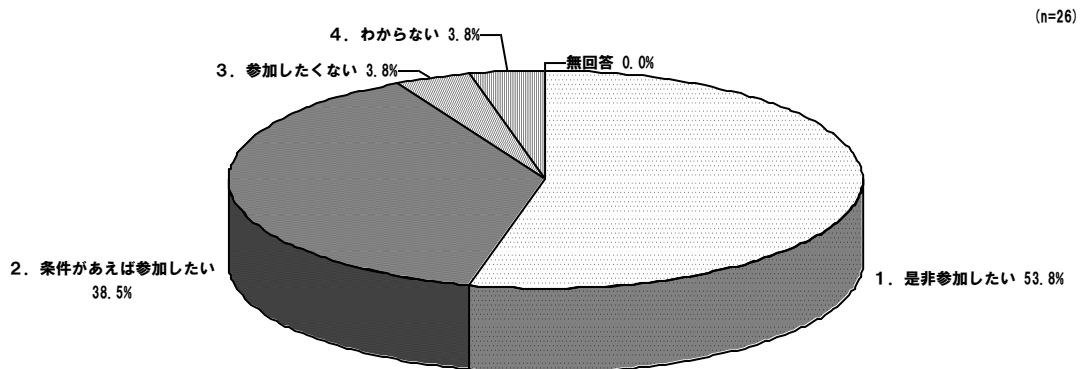
図表IV-9 テーマ毎の討議時間について (単数回答)



(3) 今後の参加意向について

「是非参加したい」が53.8%で最も多く、これに次いで「条件があれば参加したい」(38.5%)が多く、大部分の参加者が今後も機会があれば市民参加に前向きな姿勢を示している。

図表IV-10 今後の市民参加機会への参加意向について (単数回答)



#### (4) その他市民会議全般について（自由意見）

「大変有意義だった」など参加に満足した旨の意見が多く見られる。

一方、「意見が平準化され、個性的な意見がすいあげられにくい点が問題点である」等、少数意見を活かす工夫を求める意見や、資料が多すぎるといった意見を始め、運営の改善点を指摘する意見も見られた。

図表IV-11 その他船橋市市民会議の全般について（自由意見）の回答の概要

**\*勉強になった。有意義であった。**

- ・市民としての責任、義務や実情が良くわかった。自分中心でしか考えられなかった我が街をまじめに考えることができた。
- ・自分が思っていたよりも市の活動が活発で色々やっていることがわかった。
- ・いろいろな事が勉強でき大変有意義だった。参加者全員が一生懸命討論したことも素晴らしかった。
- ・色々な世代・職業・経験を持った人たちと話しあうことができてうれしかった。

**\*その他運営の改善点について**

- ・運営に問題と感ずる点があった（全体的に時間がかかりすぎ、60分ごとに休憩がほしい、資料が多すぎる、年齢ごとに分けて議論すべき、等）
- ・少数意見が消えていたのもったいなかった。意見が平準化され、個性的な意見がすいあげられにくい点が問題点。

**\*その他**

- ・各テーブルに市職員がついたのは助かった。

## 2. 討議結果の特徴と成果

### ■参加意識の高い前向きな提案

- ・提案の内容全般において、主として市の取り組みを求める陳情・要望の姿勢からの提案ではなく、市民が行っていくべき事について積極的に提案や意見が示されており、まちづくりに対する主体的、前向きな姿勢での議論がなされた。

### ■市民の目線にたった特徴的な提案

- ・「産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち」の討議において、企業誘致や創業支援、既存産業の振興といった一般的な産業振興策ではなく「地域ブランド」に係る提案が最も高い支持率を得たほか、「児童・障害者・高齢者福祉、保健関係」の討議における「泣く外来（泣いたら行って良い場所）」といった市民の生活実感に根ざした特徴的な提案が最も高い支持率を得るなど、市民の目線にたった議論により、特徴的な取り組みの提案が見られた。

### ■質疑応答・意見交換に見られた主体的な問題意識

- ・発表時の質疑応答・意見交換において、市民が取り組むべきことや意識改革すべきことなどについて主体的な議論がなされたほか、市の取り組みに対する意見においても、市政への高い関心と問題意識にもとづく踏み込んだ議論がなされた。

### ■今後の課題

- ・この市民会議の成果は、市民の目線から見いだされた優先的、重点的に取り組むべき課題とその対応策が提案されている。
- ・今後、新基本計画の施策を検討する中で、提案された市民のアイデアを、選択と集中の視点にたった特色ある計画づくりに有効に活用することが望まれる。
- ・無作為抽出によって選ばれた偏りのない集団であるにもかかわらず、9割以上の参加者が引き続き市民参加に前向きな姿勢を示している。この発掘した人的資源の活用を図ることも、今後の課題と言える。

## 資料編

### 1. 船橋市市民会議参加者名簿（50音順、敬称略）

青	木	富美子
大	石	和江
大	石	昭爾
大	谷	正之
岡	安	克之
後	藤	茂成
齋	藤	かおる
佐	藤	由香
實	川	邦宏
鈴	木	隆夫
高	橋	和則
高	橋	将之
高	見澤	歳夫
谷	野	扶美子
田	村	貴子
中	村	久亜
林		元一
人	見	葉子
廣	瀬	豊子
藤	田	扶美子
松	下	公一
村	井	豊子
森	田	基子
米	谷	直子
他	4名	(匿名希望)

計28名

## 2. 参加者アンケート調査票

# 船橋市市民会議参加者アンケート ご協力をお願い

このたびは、船橋市市民会議にご参加頂き、誠にありがとうございました。

今後の市民参加施策の充実に向けた検討材料とさせて頂くため、以下のアンケート（原則として無記名）にご協力をお願いいたします。ご回答は市の内部検討資料としてのみ活用し、個々のご回答内容が公表されることは一切ありません。何とぞよろしくお願い申し上げます。

### 1. あなたの年齢、性別について（以下の欄にご回答ください）

ご年齢（数値を記入）	才	性別（あてはまるものに○）	男・女
------------	---	---------------	-----

### 2. 参加の動機について

あなたが、船橋市市民会議に参加されたのはどのような理由からですか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 市に自分の意見を直接伝えたいと思ったから	)
2. 市政に何らかの形で協力したいと思ったから	
3. 市政について勉強したいと思ったから	
4. 市民同士で市政に関する意見交換をしてみたいと思ったから	
5. その他（具体的に：_____）	
6. 特に理由はない（なんとなく）	

### 3. 今回の市民会議への感想・意見

今回の市民会議は、候補者を無作為抽出、有償参加、市民だけで討議などを特徴とするプランクシステムの手法により実施いたしました。この会議の手法についてお尋ねします。

#### （1）参加者の選出方法について

すべての参加者を無作為抽出と抽選により選出するという方法は適切だったでしょうか。以下の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 無作為抽出と抽選で選出するという方法で良かったと思う	)
2. 希望者を公募する方法が良かったと思う	
3. 各分野で実績や知識を有する市民を市が指名する方法が良かったと思う	
4. その他（具体的に：_____）	
5. わからない	

#### （2）会議の運営方法について

討議を市民だけで行うという方法は適切だったでしょうか。以下の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 市民だけで行うという方法で良かった	)
2. 市職員も参加した方が良かった	
3. 大学等の研究者や実務経験者など、各分野の専門家が参加した方が良かった	
4. コーディネーターなど司会を担当する会議運営の専門家が参加した方が良かった	
5. その他（具体的に：_____）	
6. わからない	

#### （3）会議の公開・非公開について

今回の市民会議は、議論のしやすさや議論への影響などに配慮して非公開と致しました。この点について、以下の中からあてはまるもの一つだけに○をつけてください。

1. 公開されると緊張するなど議論しづらくなるので非公開で良かったと思う	)
2. 公開されても特に気にならないので公開した方が良かったと思う	
3. 公開でも非公開でもどちらでも良かったと思う	
4. その他（具体的に：_____）	
5. わからない	



#### (4) 謝金について

参加者に対して、1日(約6～7時間)あたり3,000円(税込み)の謝金をお支払いしていますが、適切だったでしょうか。以下の中からあてはまるもの一つだけに○をつけてください。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 謝金があった方が良く、金額も適切だったと思う        |
| 2. 謝金があった方が良く、金額はもっと多い方が良かったと思う  |
| 3. 謝金があった方が良く、金額はもっと少ない方が良かったと思う |
| 4. 謝金はあってもなくてもどちらでも良かったと思う       |
| 5. 謝金はない方が良かったと思う                |
| 6. その他(具体的に: _____)              |
| 7. わからない                         |

#### (5) 会議資料及び説明等について

会議の資料や説明、討議に関する情報提供などで、わかりにくい点はありましたでしょうか。以下の中からあてはまるもの一つだけに○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 特にわかりにくい点はなかった           |
| 2. わかりにくい点があった(具体的に: _____) |
| 3. どちらでもない                  |

#### (6) 会議の日数や時間について

今回の市民会議の日数や時間について、どのように感じられましたか。下記のそれぞれの点について、あてはまるもの一つだけに○をつけてください。

##### ①日数について

1日の討議時間が今回と同様とすることを前提とした場合、討議日数は適切だったでしょうか

- |  |
|--|
| 1. 3日間はちょうど良かったと思う                       |
| 2. 3日間は多すぎると思う                           |
| 3. 3日間ではすくな過ぎると思う→適切と思う日数を具体的に( _____ 日) |
| 4. わからない                                 |

##### ②一日の討議時間

1日の討議時間(6～7時間)は適切だったでしょうか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ちょうどよかった   | 2. もう少し短い方が良い |
| 3. もう少し長い方が良い | 4. わからない      |

##### ③テーマごとの討議時間

テーマごとの討議時間(80～90分)は適切だったでしょうか。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ちょうどよかった   | 2. もう少し短い方が良い |
| 3. もう少し長い方が良い | 4. わからない      |

#### 4. 今後の市民参加機会への参加意向について

今後、同様の市民参加機会があった場合、参加したいと思いますか。以下の中からあてはまるもの一つだけに○をつけてください。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 是非参加したい                     |
| 2. 条件があれば参加したい(条件を具体的に: _____) |
| 3. 参加したくない                     |
| 4. わからない                       |

#### 5. その他船橋市市民会議の全般について

今回の市民会議に参加されて、ご感想やご意見があれば以下にご自由にお書き下さい。

----------------------

アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。

---

---

# 新基本計画策定のための 船橋市市民会議 報告書

平成 22 年(2010 年) 3 月発行

- 【発行】 〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25  
船橋市 企画調整課  
電話：047-436-2053 (ダイヤルイン)  
メールアドレス：kikaku-kei@city.funabashi.chiba.jp
- 【協力】 〒108-8248 東京都港区港南 2-16-4  
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社  
電話：03-6711-1242
-